

沿革

川崎町立女子高等技芸学校

明治(1911年)	44年10月6日	川崎町立女子技芸補習学校として創立。本科は2年、補習科1年
		川崎尋常小学校校長笠間友作校長兼任。校舎は稲毛神社付近

川崎町立実科高等女学校

大正12年	2月	川崎町立実科高等女学校設立認可
	4月	川崎町立実科高等女学校と改称。本科4年、選科1年
		川崎尋常小学校校長笠間友作校長兼任
	10月	校長笠間友作病気退職
	13年	1月
		川崎尋常小学校校長五十嵐米八郎校長兼任

川崎高等女学校

大正13年	7月	川崎町・大師町・御幸村合併、川崎市となり、川崎市立川崎実科高等女学校と改称
14年	3月	高等女学校設立認可
	4月	川崎高等女学校開校。川崎市榎町62番地に校舎新築。五十嵐米八郎校長に就任
昭和2年	4月	校長五十嵐米八郎、本県視学に就任、桜井季校長に就任
	6年4月	校長桜井季、鳩川実科高等女学校校長へ転任、滋賀貞校長に就任
	9月	校長滋賀貞退任、間宮仙之助校長に就任
	11月	同窓会真玉会設立
		真玉会経営の家政科開設
		家政科を本校に移管、補習科設置。修業年限1年
		本科の修業年限5年制に変更

川崎市立川崎高等女学校

昭和17年	4月	川崎市立川崎高等女学校と改称
	18年 4月	高等女学校令の改正に基づき、修業年限4年に変更
	20年 4月15日	戦火により校舎全焼。宮前・川中島両国民学校校舎借用、分離授業
	7月	全校南河原国民学校内に移転
	8月15日	校長間宮仙之助退職、新川正一校長に就任
	21年 4月	修業年限5年に復す。定員1,000名
	5月14日	南河原国民学校校舎一部火災にあう
	5月27日	大戸国民学校内に一部移転
	22年 4月	新学制（六三制）実施により、3年以下は併設中学校として出発。
	10月	神奈川県立川崎中学校校舎を借用し移転

川崎市立川崎高等学校

昭和23年	4月	川崎市立川崎高等学校設置 川崎高等女学校生徒は高校および併設中学校相当学年に編入。同時に川崎市立東渡田実務女学校を統合。 別科並びに定時制家庭科（昼・夜間部）を置く
24年	3月	高等女学校（5年制）生徒卒業および併設中学校（3年制）生徒卒業をもって女学校は廃される
	4月	定時制のうち昼間部を全日制家庭科と改める 家庭科の校舎は新町小学校校舎を借用
	5月	川崎市立商業高等学校を統合。学校の構成（1）全日制＝普通科、家庭科、商業科。 （2）定時制＝商業科（夜間）、洋裁科（夜間）（3）別科＝洋裁科（昼間）、洋裁科（夜間）
昭和25年	5月	分校として川崎小学校の京町校舎一部借用、普通科、商業科1年を置く
	26年	3月 川崎市中島町1の306に新校舎2棟（南北棟）落成、県立川崎高等学校校舎から移転。京町分校普通科も本校へ復帰
	27年	5月 本館校舎落成。大教室完成。新町分校を廃し京町分校に家庭科を移す。川崎実科高等女学校、川崎高等女学校、川崎高等学校卒業生をもって新たに川崎市立川崎高等学校同窓会を設立
	28年	4月 別科洋裁科（昼間）を廃す。京町分校を廃止し家庭科を本校に移す。新たに定時制普通科を置き、2学級募集 川崎市立商業高等学校設立認可に伴い本校商業科全員を同校に編入し、本校商業科を廃す
	29年	4月 別科洋裁科（夜間）を廃す
	31年	3月 定時制家庭科（夜間）を廃す
	33年	7月 体育館竣工。大教室を移動して給食用食堂および卓球室・柔道場に改築
	34年	4月 全日制20学級編制（内家庭科3学級）定時制8学級編制

5月	校長新川正一退職、岸米作校長に就任
7月	生徒自治会本部室、新聞部室1棟完成
9月	同窓会館完成
10月	鉄筋コンクリート3階建（普通教室3）北棟側に増築
35年 4月	全日制22学級編制（内家庭科3学級）、定時制8学級
5月	体育館増築工事完成
36年 4月	全日制24学級編制（内家庭科3学級）、定時制8学級
10月 6日	創立50周年記念式典挙行
37年 3月 5日	校長岸米作退職、樋口一雄校長に就任
3月	図書館落成
6月	理科室（科学・生物・物理）完成
38年 9月	L L 教室設置
39年10月	教員室増築（木造）
42年 6月	北館改築、鉄筋四階建一期工事（地学、美術、被服、L L 教室および準備室）完成
43年 5月	北館残存部改築、二期工事（調理、工芸、被服、書道、地理、作法、および普通教室）完成
44年 5月	南館改築、三期工事（事務室、校長室、応接室、用務員室、宿直室、女子職員更衣室、定時制副校長室および普通教室11教室）完成
45年 4月 1日	校長樋口一雄退職、大井章校長に就任
6月	南館改築、四期工事（全日制・定時制職員室、会議室、視聴覚室）完成
46年 9月	運動場撒水設備完成
47年 4月 1日	地番変更 川崎市川崎区中島町1丁目328番地
5月	渡廊下1階兼昇降口、同2階（クラブ室つき）完成
8月 1日	住居表示 川崎市川崎区中島3丁目3番1号
48年 3月	渡廊下3階（生徒会室・クラブ部室つき）完成
49年 3月18日	地学準備室完成
4月 1日	校長大井章退職、飯島和夫校長に就任
51年 4月 4日	校門完成
52年 4月 2日	校長飯島和夫、川崎市立工業高等学校へ転任、小林勉校長に就任
55年 5月17日	食堂、柔道場完成
55年10月 2日	東館完成（保健室、進路指導室、図書館、会議室、演習教室、国語研究室、数学研究室、音楽教室、レッスン室、生徒自治会執行部室、写真暗室、新聞部室）
56年 3月	グラウンド整備工事完成
57年 1月	中庭工事完成
57年10月14日	新体育館完成
59年 4月 1日	校長小林勉、川崎市立商業高等学校へ転任、青木正雄校長に就任
61年 4月 1日	校長青木正雄退職、河田英彦校長に就任
62年 3月 1日	校門改修
63年 4月 1日	校長河田英彦退職、大田哲彦校長に就任
平成元年 5月 1日	第2食物室（プレハブ）完成
2年 4月 1日	校長大田哲彦退職、藤井康雄校長に就任
3年10月 6日	創立80周年記念写真集発行
4年 4月 1日	校長藤井康雄、川崎市立橘高校に転任、佐藤尚校長に就任6
6年 4月 1日	校長佐藤尚、川崎市立総合科学高校に転任、田中良也校長に就任、学科改編により家庭科を生活科学科とする、情報処理室使用開始
8年 4月 1日	校長田中良也退職、国吉卓校長に就任 全日制21学級編制（内 生活科学科3学級）定時制8学級
9年 3月 3日	福祉科実習棟完成
4月 1日	福祉科開設
11年 4月 1日	全日制21学級編制（内 生活科学科3学級、福祉科3学級）定時制8学級
12年 4月 1日	校長国吉卓、川崎市立高津高等学校へ転任、内田一洋校長に就任 全日制普通科1年の募集定員4学級となる（5学級編制で実施）
15年 4月 1日	校長内田一洋退職、高橋靖之校長に就任 全日制普通科総合選択制開始
18年 4月13日	校長高橋靖之退職、郡司常雄校長に就任
19年 4月	市立高校再編計画に基づき、併設型中高一貫校設立基本構造策定
9月18日	福祉科10周年記念行事

20年 4月 1日	校長郡司常雄退職、市野典明校長に就任
22年 4月 1日	普通科総合選択から、2年次より文系・理系コース制へと移行する。
23年 4月 1日	校長市野典明、川崎市立川崎総合学科高等学校へ転任、宮津健一校長に就任
6月	校舎全面改築に伴い校庭に仮校舎を建築
10月 6日	100周年事業の一環で川崎高校女学校卒業の集いを開催
11月	仮校舎に移転、校舎解体工事開始
24年 5月15日	とどろきアリーナにて体育祭実施
7月	新校舎改築工事着工
10月13日	創立100周年記念式典挙行
25年 3月 2日	教育文化会館にて卒業式実施
26年 4月 1日	校長宮津健一、川崎市立総合科学高等学校へ転任、阿部敏校長に就任
	定時制昼間部を開校、併設型中高一貫校開設、附属中学校開校、併せて校舎内に南部地域療育センターを開設
8月26日	新校舎竣工式
9月 1日	仮校舎から新校舎へ移転
27年 8月 1日	グラウンド完成
8月29日	附属中学校開校式典
29年 4月 1日	校長阿部敏退職、高井健次校長に就任
令和 2年 5月 1日	校長高井健次、川崎市立橘高校転任、岩木正志校長に就任
	全日制普通科高校募集停止
5年 12月 9日	附属中学校10周年記念式典
7年 4月 1日	校長岩木正志、川崎市立高津高等学校へ転任、田中弘司校長に就任